

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2015年第51週  
(12月14日～12月20日)

- \* 2015年12月24日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「インフルエンザ脳症」も掲載しています。

平成27(2015)年12月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2015年51週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	68	57	68	56	3,457	328	23,193
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9) <sup>*3</sup>							
三類	コレラ					1		6
	細菌性赤痢	1				53	1	154
	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	2	3	334	22	3,538
	腸チフス	1				13	1	35
	パラチフス		1			9		31
四類	E型肝炎		1	3	1	34	11	199
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		2			40	3	239
	エキノコックス症					1		22
	黄熱							
	オウム病							5
	オムスク出血熱							
	回帰熱							4
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		3
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*4</sup>							60
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱	1				7		17
	つつが虫病		2	2		13	13	380
デング熱	1		1	5	90	7	286	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*3 2013年より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更された。

\*4 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	2	211
	日本脳炎							2
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					2		5
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア					16		40
	野兔病							2
	ライム病					2		10
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		1
レジオネラ症	4	2	3	3	149	27	1,557	
レプトスピラ症					10		31	
ロッキー山紅斑熱								

2015/12/24集計

### ( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

#### 〈二類感染症〉

**結核 56件** 肺結核 26件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 20件、年齢は10歳未満 3件(うち5歳未満 1件)、10代 1件、20代 6件、30代 4件、40代 9件、50代 3件、60代 9件、70代 8件、80代 9件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 51件、中国 2件、ベトナム 1件、国外(渡航先不明) 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件であった。

#### 〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 3件** 患者 3件、血清型・毒素型はO26 VT1・VT2 1件、O26 VT1 1件、O157 VT2 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、20代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 2件であった。

#### 〈四類感染症〉

**E型肝炎 1件** 患者、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

**デング熱 5件** 患者 5件、病型はデング熱 5件、血清型は1型 1件、2型 1件、4型 1件、不明 2件、年齢は40代 3件、50代 1件、60代 1件、推定感染地はフィリピン 2件(うち1件はボホール島)、インドネシア 1件、シンガポール 1件、ミャンマー 1件であった。

**レジオネラ症 3件** 病型は肺炎型 3件、年齢は20代 1件、70代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は水系感染(自宅の風呂) 1件、不明 2件であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2015年51週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	4	5	6	4	196	13	1,054
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1		1	1	50	2	241
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *2	5	6	4	5	228	18	1,607
	急性脳炎 *1					44	4	482
	クリプトスポリジウム症					3		15
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			24	2	181
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1	1	62	6	416
	後天性免疫不全症候群	8	9	16	8	421	20	1,373
	ジアルジア症				1	19	1	77
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1	28	6	237
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1				8	1	30
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	3	9	10	311	55	2,245
	水痘(入院例に限る) *2	3	1	3	1	53	2	296
	先天性風しん症候群							
	梅毒	17	23	35	19	1,007	47	2,556
	播種性クリプトコックス症 *2		1			11	3	114
	破傷風					2		116
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					2	2	62
	風しん		1			33		158
麻しん		1			10		35	
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	2			2	12	2	36	

2015/12/24集計

\*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

\*2 2014年9月19日より新たに追加指定された。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 4件** 病型は腸管 3件、腸管外 1件、年齢は30代 1件、40代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は異性間性的接触 1件、経口感染 1件、不明 2件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は20代、推定感染地は中国、推定感染経路は針等の鋭利なものの刺入による感染(刺青)、B型肝炎ワクチン接種歴は無しであった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 5件** 患者 5件、病原菌はエンテロバクター・アエロゲネス 3件、エンテロバクター・クロアカ 1件、クレブシエラ・ニューモニエ 1件、年齢は70代 4件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は手術部位感染 3件、以前からの保菌又は手術部位感染 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴は無し5件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件** 血清群は不明、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

**後天性免疫不全症候群 8件** AIDS 1件、無症候キャリア 7件、AIDS患者の年齢は20代、無症候キャリアの年齢は20代 1件、30代 5件、40代 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 7件、異性間 1件)であった。

**ジアルジア症 1件** 年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件** 血清型は検査未実施、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、ヒブワクチン接種歴は4回接種済みであった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 10件** 血清型は15C 1件、不明 1件、検査未実施 8件、年齢は10歳未満 3件(うち5歳未満 2件)、10代 1件、60代 2件、70代 2件、80代 2件、推定感染地は国内 10件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 7件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 2件、7価4回・13価1回接種済み 1件、価数不明2回接種済み 1件、無し 4件、不明 2件であった。60代の患者のうち1件及び70代の患者のうち1件は死亡が確認された。

**水痘(入院例) 1件** 臨床診断例、年齢は10歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、水痘ワクチン接種歴は1回接種済みであった。

**梅毒 19件** 早期顕症梅毒Ⅰ期 9件、早期顕症梅毒Ⅱ期 4件、晩期顕症梅毒 1件、無症候梅毒 5件、年齢は20代 4件、30代 8件、40代 3件、50代 3件、60代 1件、推定感染地は国内 19件、推定感染経路は性的接触 16件(同性間 4件、異性間 8件、性別不明 4件)、静注薬物常用 1件、不明 2件であった。

**薬剤耐性アシネトバクター感染症 2件** 患者 2件、年齢は70代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は医療器具関連感染(胸腔ドレーン) 1件、以前からの保菌 1件、90日以内の海外渡航歴は無し 2件であった。

※ 第50週該当分として〔五類〕後天性免疫不全症候群 1件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2015年51週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2015年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		48週	49週	50週	51週		
小児科	RSウイルス感染症	310	350	356	276	261	264
		1.19	1.35	1.36	1.06		
	咽頭結膜熱	98	121	137	147		
		0.38	0.47	0.52	0.56		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	643	848	859	1,048		
		2.47	3.27	3.29	4.02		
	感染性胃腸炎	1,974	3,117	3,734	3,957		
		7.59	12.03	14.31	15.16		
	水痘	167	213	201	267		
		0.64	0.82	0.77	1.02		
	手足口病	56	42	30	27		
		0.22	0.16	0.11	0.10		
	伝染性紅斑	94	124	107	103		
		0.36	0.48	0.41	0.39		
突発性発しん	137	142	113	132			
	0.53	0.55	0.43	0.51			
百日咳	6	2	6	5			
	0.02	0.01	0.02	0.02			
ヘルパンギーナ	13	15	11	13			
	0.05	0.06	0.04	0.05			
流行性耳下腺炎	171	155	153	196			
	0.66	0.60	0.59	0.75			
川崎病 <sup>*1</sup>	3	6	2	6			
	0.01	0.02	0.01	0.02			
不明発しん症 <sup>*1</sup>	27	13	16	18			
	0.10	0.05	0.06	0.07			
インフル エンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	75	79	181	231	411	419
		0.18	0.19	0.44	0.56		
眼科	急性出血性結膜炎		1			38	39
			0.03				
	流行性角結膜炎	40	29	24	32		
		1.03	0.74	0.63	0.84		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>		2		1	25	25
			0.08		0.04		
	無菌性髄膜炎	1	1	2			
		0.04	0.04	0.08			
	マイコプラズマ肺炎	29	40	30	32		
		1.16	1.60	1.25	1.28		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		2	2	1			
		0.08	0.08	0.04			
感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>		2	1	1			
		0.08	0.04	0.04			
インフルエンザ入院	1	2		2			
	0.04	0.08		0.08			

2015/12/24集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年平均より高い値で推移している。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加が続いている。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2015年51週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	45	1		31	1			1			
6～11か月	69	9	4	243	6		2	35			
1歳	97	29	22	625	11	9	2	70		2	4
2歳	41	22	35	415	13	3	6	20		2	7
3歳	17	14	79	392	30	7	7	2		2	15
4歳	4	18	126	391	37	1	22	1		1	21
5歳	1	10	144	293	42	2	14	2		1	27
6歳	1	17	136	220	31	3	11				25
7歳		11	123	191	39		6				27
8歳	1	3	105	152	25	2	9	1			22
9歳		5	78	141	10		9			1	20
10～14歳		5	137	329	19		12			2	20
15～19歳		1	15	71							2
20～29歳		2	44	463	3		3		5	2	6
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	276	147	1,048	3,957	267	27	103	132	5	13	196
先週比	-80	10	189	223	66	-3	-4	19	-1	2	43

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1							1			
6～11か月	3	2	1								
1歳		2	5		1			2			
2歳	1	3	8		4			2		1	
3歳		3	15		2			2			
4歳		5	12					2			
5歳		1	14		2			1			
6歳			14		1			2			
7歳		1	29					2			
8歳			22		1			3			
9歳			14					1			
10～14歳	1		25		1			10			
15～19歳			8		1						
20～29歳		1	16		3						
30～39歳			18		9			1			
40～49歳			17		4	1		2			
50～59歳			5		1						
60～69歳			6		1			1			
70～79歳			1		1						1
80歳以上			1						1		1
合計	6	18	231		32	1		32	1	1	2
先週比	4	2	50		8	1	-2	2	-1		2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2015年51週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	0.33		1.33	10.00			0.33				
中央区	0.33	0.67	2.67	18.00	0.67		0.33	0.33			
みなと	1.50	1.83	5.17	18.00	0.83		0.33	0.50			1.17
新宿区	1.50		2.00	9.25	0.75			0.50			
文京	0.25	1.75		13.75	3.00		0.25	0.25		0.25	0.25
台東	0.25		2.25	19.50			0.75	0.75			1.50
墨田区	1.00	0.20	3.00	15.60	1.00	0.40	0.20				0.20
江東区	2.00	0.44	4.00	31.56	1.56		0.78	0.22			0.67
品川区	0.38		1.75	13.63	0.63	0.13	0.13	0.50			0.75
目黒区	1.00	0.20	3.60	19.60	1.40		0.40	0.20			
大田区	0.92	0.69	5.00	17.15	0.69	0.15	0.31	0.62	0.08		0.23
世田谷	1.38	1.06	6.50	18.69	0.63		0.38	0.25			0.25
渋谷区	0.25		1.00	12.00	1.25		0.25	0.25			0.25
中野区	0.50	0.17	2.17	14.33	0.50	0.67	0.33	0.67			0.17
杉並	0.50	0.20	3.00	11.20	0.70	0.20	0.20	0.40			
池袋	2.50		1.50	6.25				0.25			
北区	0.14	0.71	3.71	13.71	0.43		0.14	0.29			1.29
荒川区	2.00	1.25	8.75	24.50	4.25	0.50		1.25	0.50	0.25	2.25
板橋区	0.60		1.10	10.10	0.20	0.20		0.30		0.10	0.90
練馬区	0.69	0.31	8.15	12.77	1.00		0.15	0.46			1.15
足立	0.85	0.54	1.92	18.23	0.69	0.31	0.69	0.62			0.69
葛飾区	0.25	0.38	2.00	18.75	0.88	0.13	0.63	0.50		0.13	0.13
江戸川	0.75	0.25	4.92	16.92	1.00		1.00	0.42		0.25	1.83
八王子市	2.09	0.91	4.91	19.64	1.36	0.18	0.55	0.55			1.45
町田市	0.57		7.43	22.29	1.14		0.43	0.71			0.29
西多摩	0.63	0.25	3.75	9.50	0.75		0.50	0.25		0.13	0.88
南多摩	1.89	0.11	2.78	11.22	1.78		0.44	0.56		0.11	0.67
多摩立川	1.57	0.57	4.29	10.64	1.50		0.64	0.29			0.36
多摩府中	1.00	1.14	3.43	12.24	1.57	0.19	0.14	1.00	0.10		1.24
多摩小平	1.80	1.33	6.93	12.67	1.00	0.07	0.73	1.00		0.27	1.60
島しょ	2.00										
東京都	1.06	0.56	4.02	15.16	1.02	0.10	0.39	0.51	0.02	0.05	0.75

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			0.25					2.00			
中央区			0.60		2.00						
みなと	0.17		0.11						1.00		
新宿区			0.33		0.50			2.00			
文京			0.57								
台東		0.25	2.83								
墨田区			0.38			1.00		1.00			
江東区			1.14								
品川区		0.13									
目黒区			1.25								
大田区	0.08		0.70		1.00						
世田谷		0.19	1.24		1.50			1.00			
渋谷区			0.14		4.00			3.00		1.00	
中野区			0.20		2.00						
杉並		0.20	0.44								
池袋			0.33					1.00			
北区			0.18		2.00						
荒川区			0.14								
板橋区		0.30	0.19					1.00			
練馬区			0.24		1.50						
足立	0.08		0.20		1.50						
葛飾区		0.13	1.15		3.00			5.00			
江戸川			0.50		0.50						
八王子市		0.09	0.17		0.50			2.00			
町田市	0.29	0.57	0.08								
西多摩			0.29		1.00			3.00			
南多摩			1.71								
多摩立川			0.71					1.00			
多摩府中		0.10	0.41		0.33			1.00			0.67
多摩小平	0.07		0.70		2.00			1.00			
島しょ											

東京都	0.02	0.07	0.56		0.84	0.04		1.28	0.04	0.04	0.08
-----	------	------	------	--	------	------	--	------	------	------	------

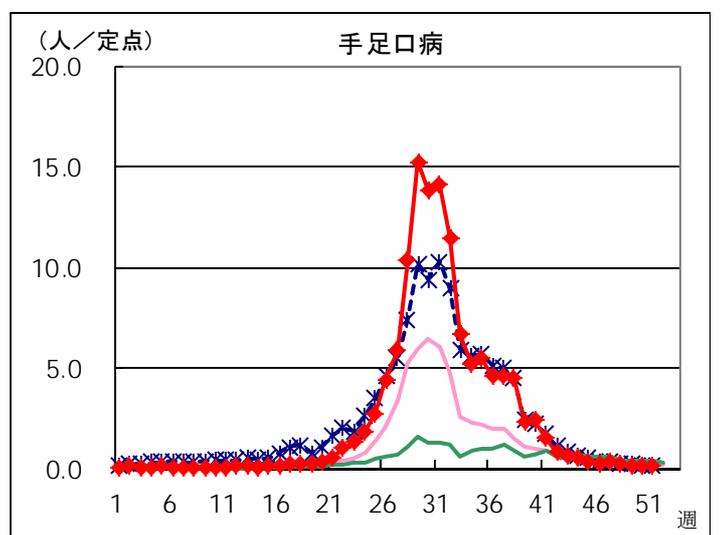
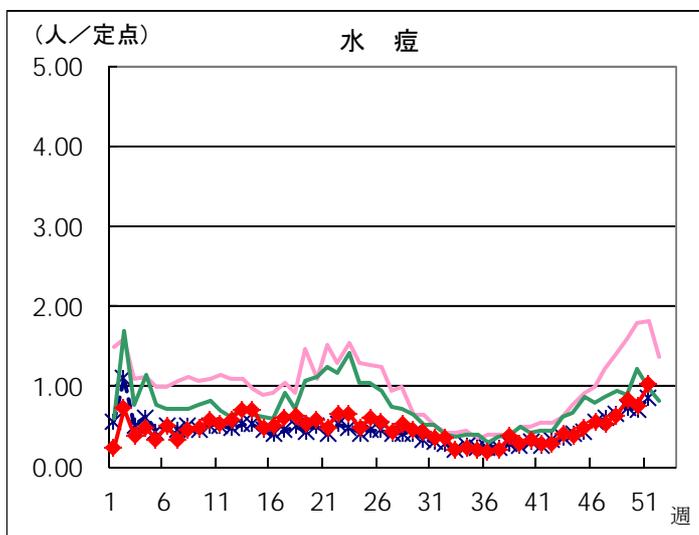
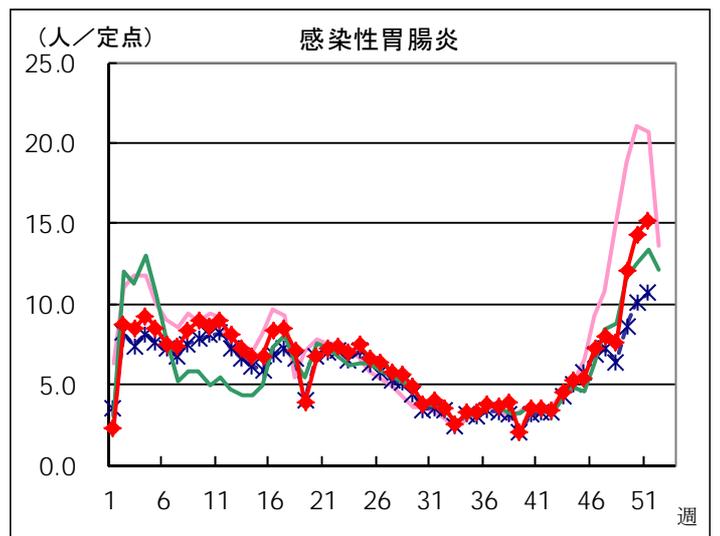
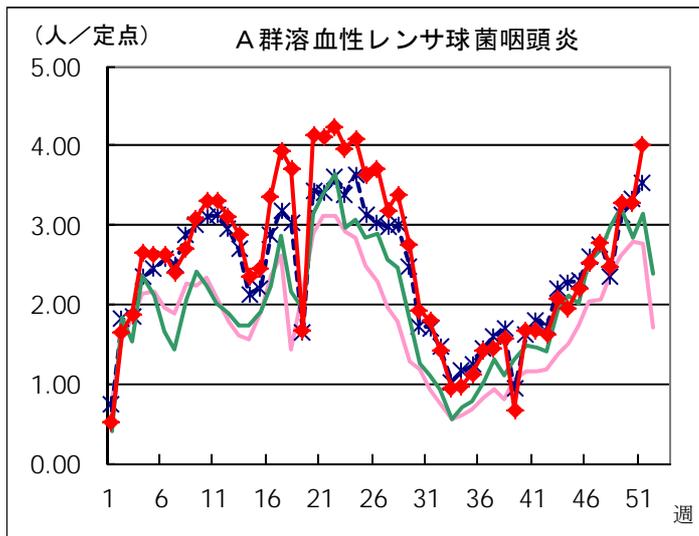
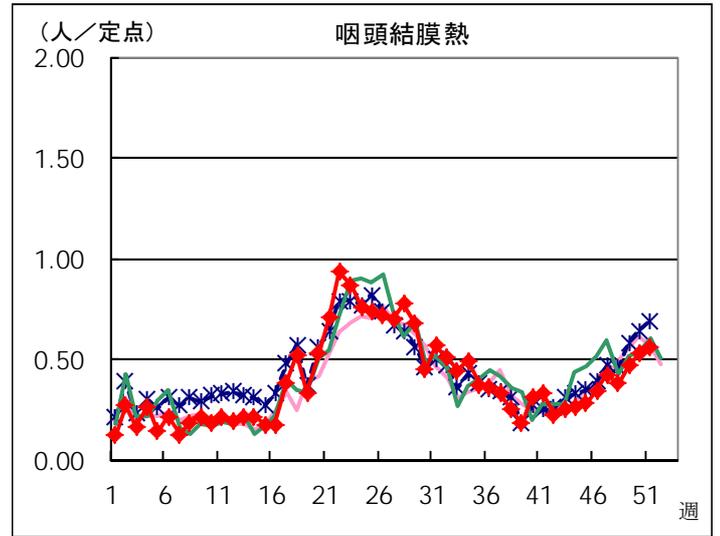
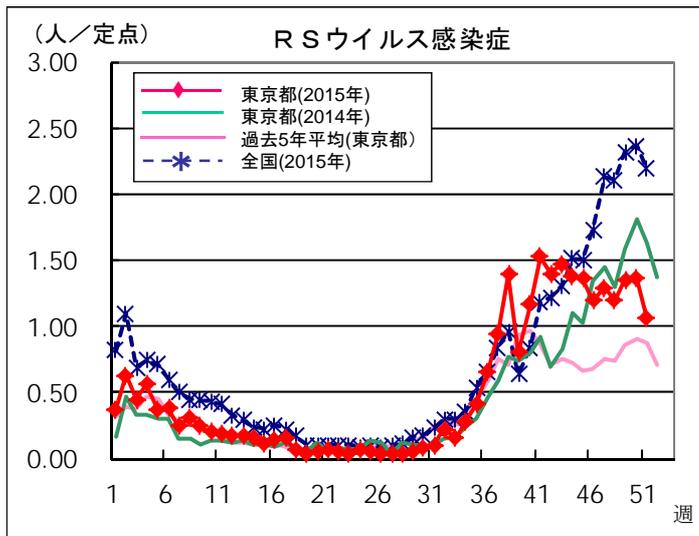
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2015年51週

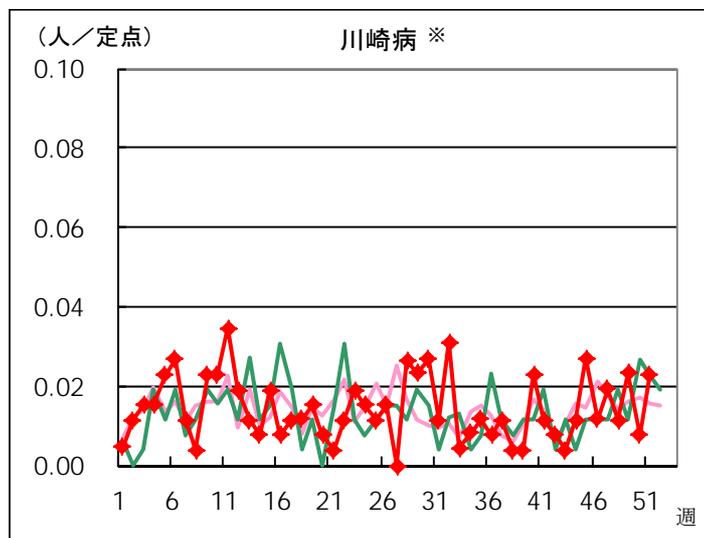
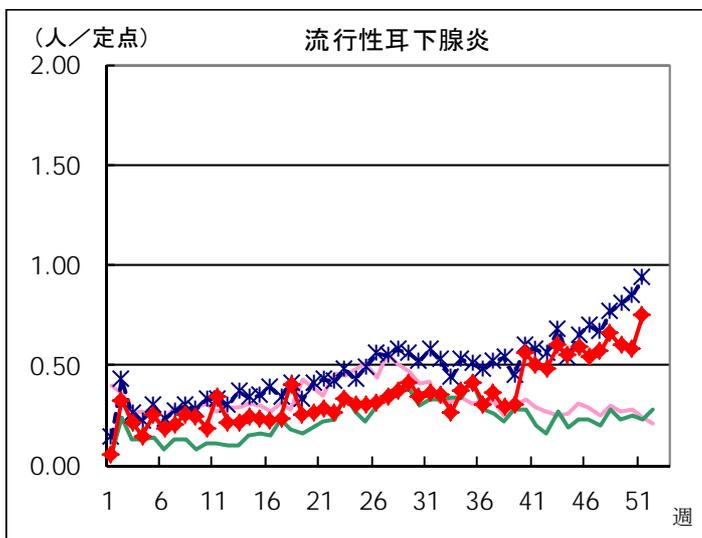
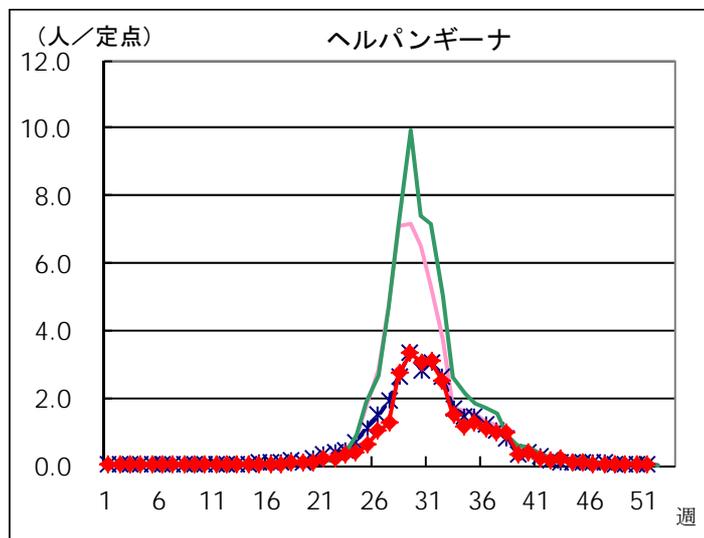
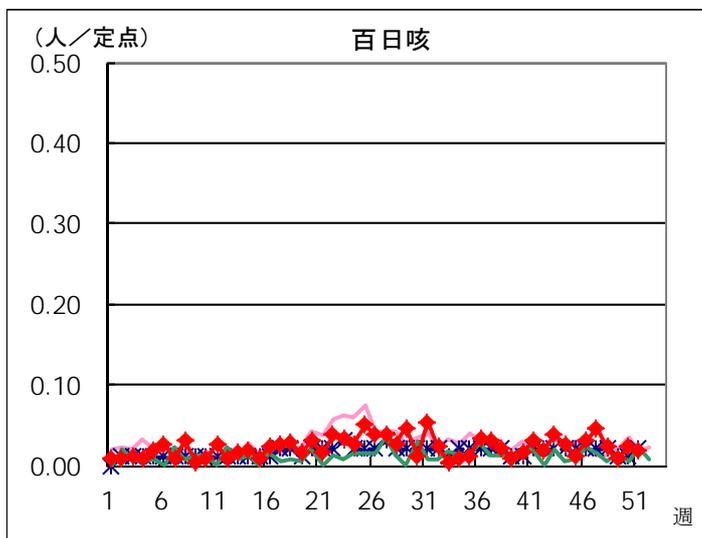
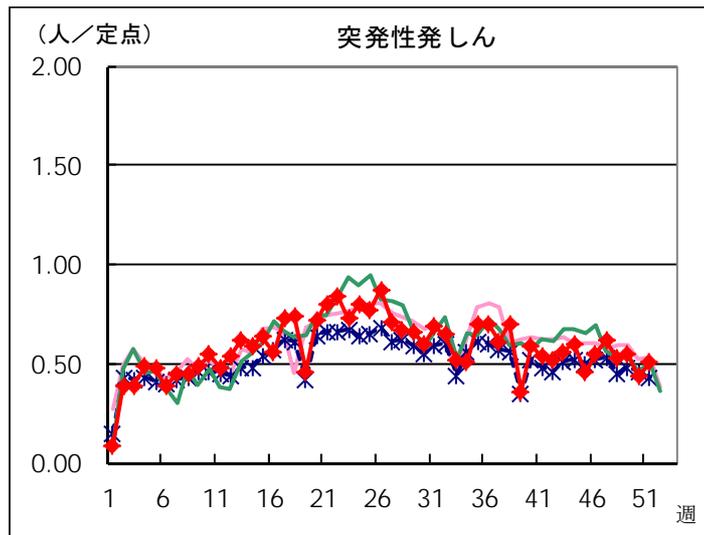
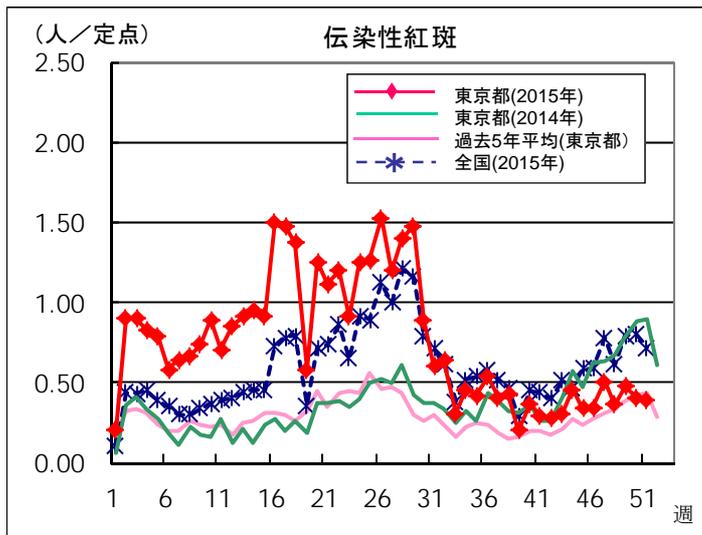
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	1		4	30			1				
中央区	1	2	8	54	2		1	1			
みなと	9	11	31	108	5		2	3			7
新宿区	12		16	74	6			4			
文京	1	7		55	12		1	1		1	1
台東	1		9	78			3	3			6
墨田区	5	1	15	78	5	2	1				1
江東区	18	4	36	284	14		7	2			6
品川区	3		14	109	5	1	1	4			6
目黒区	5	1	18	98	7		2	1			
大田区	12	9	65	223	9	2	4	8	1		3
世田谷	22	17	104	299	10		6	4			4
渋谷区	1		4	48	5		1	1			1
中野区	3	1	13	86	3	4	2	4			1
杉並	5	2	30	112	7	2	2	4			
池袋	10		6	25				1			
北区	1	5	26	96	3		1	2			9
荒川区	8	5	35	98	17	2		5	2	1	9
板橋区	6		11	101	2	2		3		1	9
練馬区	9	4	106	166	13		2	6			15
足立	11	7	25	237	9	4	9	8			9
葛飾区	2	3	16	150	7	1	5	4		1	1
江戸川	9	3	59	203	12		12	5		3	22
八王子市	23	10	54	216	15	2	6	6			16
町田市	4		52	156	8		3	5			2
西多摩	5	2	30	76	6		4	2		1	7
南多摩	17	1	25	101	16		4	5		1	6
多摩立川	22	8	60	149	21		9	4			5
多摩府中	21	24	72	257	33	4	3	21	2		26
多摩小平	27	20	104	190	15	1	11	15		4	24
島しょ	2										
東京都合計	276	147	1,048	3,957	267	27	103	132	5	13	196

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			1					4			
中央区			3		2						
みなと	1		1						1		
新宿区			4		1			4			
文京			4								
台東		1	17								
墨田区			3			1		1			
江東区			16								
品川区		1									
目黒区			10								
大田区	1		14		1						
世田谷		3	31		3			2			
渋谷区			1		4			3		1	
中野区			2		2						
杉並		2	7								
池袋			2					1			
北区			2		2						
荒川区			1								
板橋区		3	3					1			
練馬区			5		3						
足立	1		4		3						
葛飾区		1	15		3			5			
江戸川			9		1						
八王子市		1	3		1			2			
町田市	2	4	1								
西多摩			4		1			3			
南多摩			24								
多摩立川			15					1			
多摩府中		2	13		1			3			2
多摩小平	1		16		4			2			
島しょ											
東京都合計	6	18	231		32	1		32	1	1	2

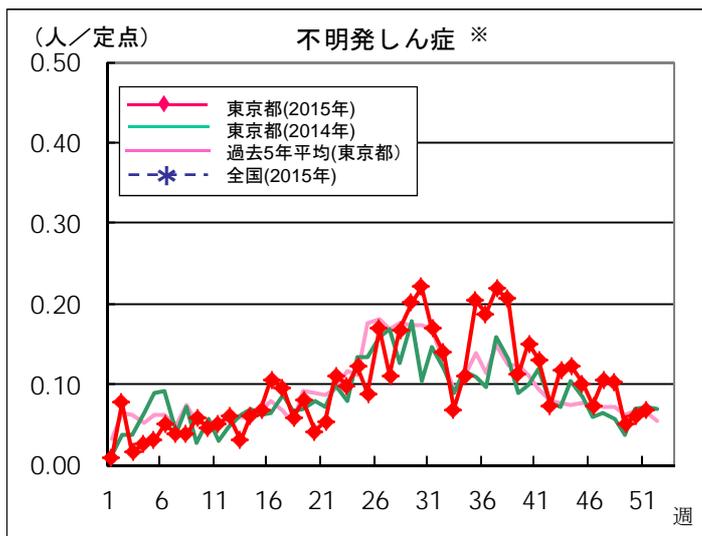
# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2015年51週 現在)

## ◆ 小児科定点



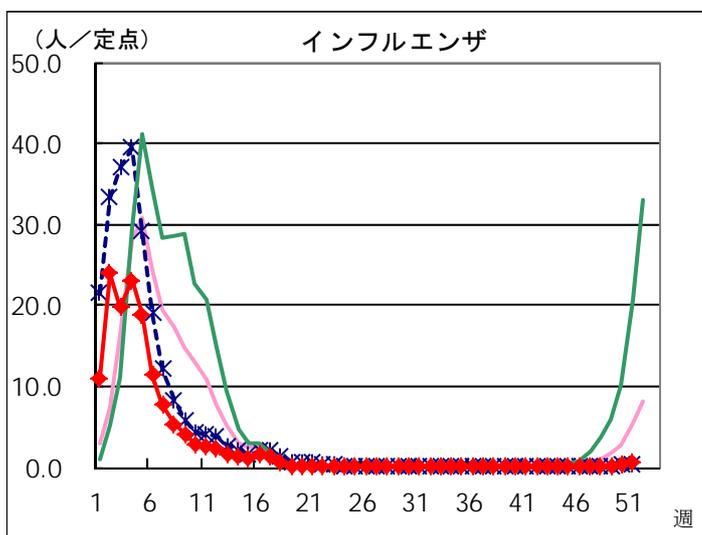


※ 東京都独自対象疾患

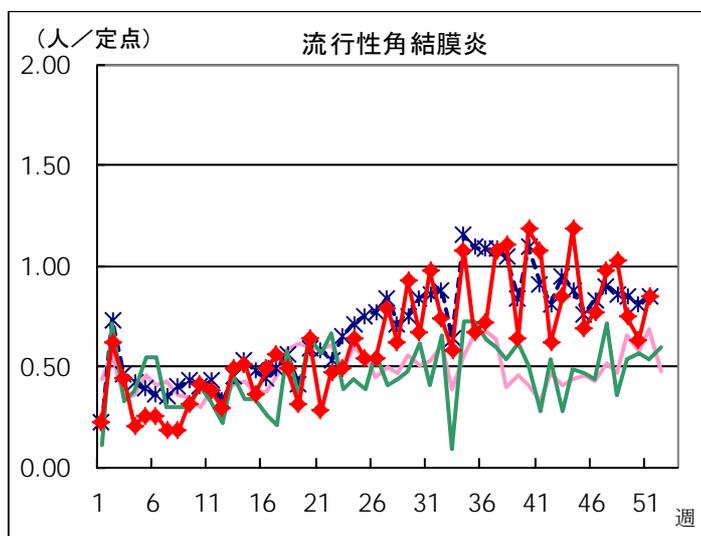
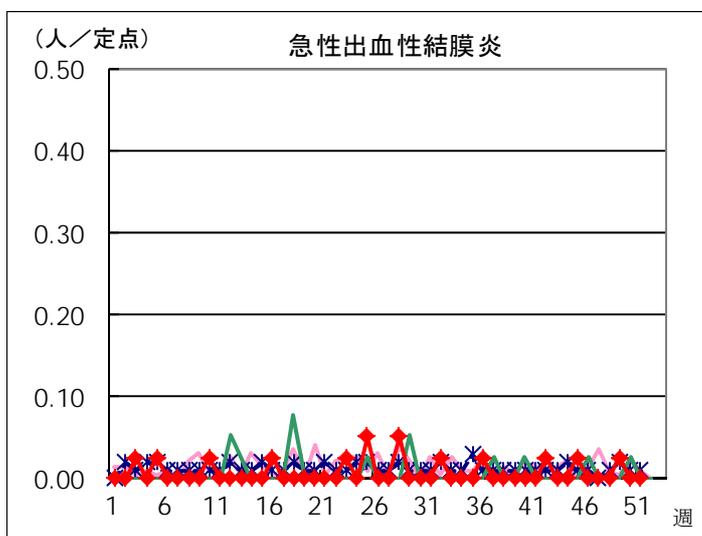


※ 東京都独自対象疾患

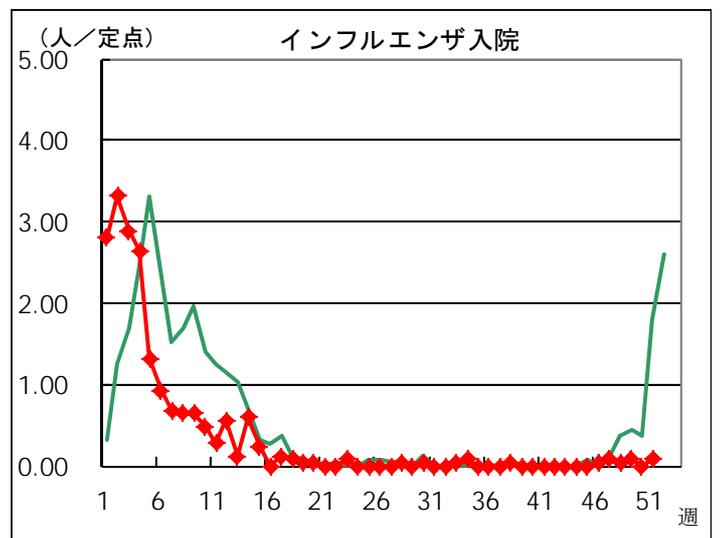
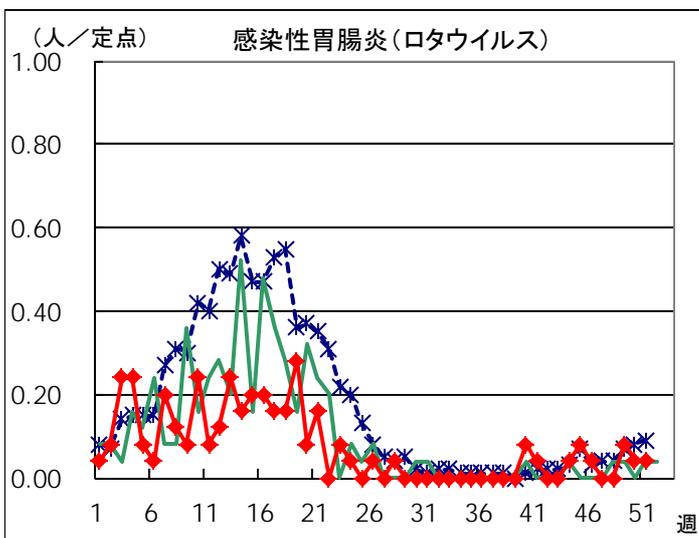
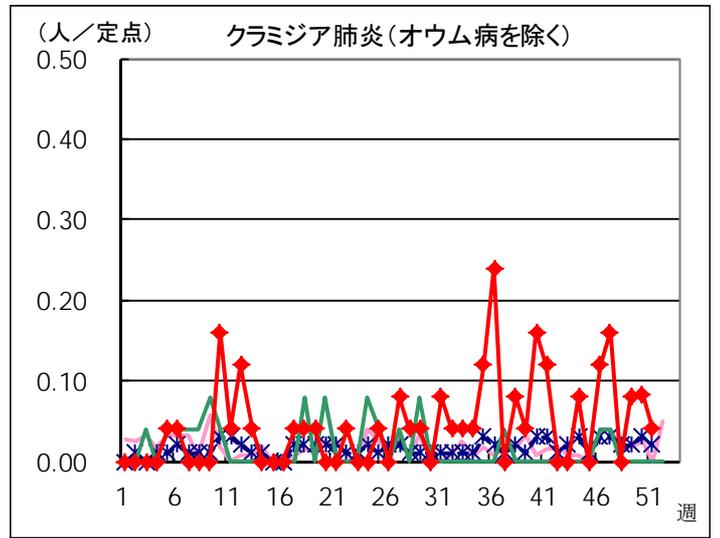
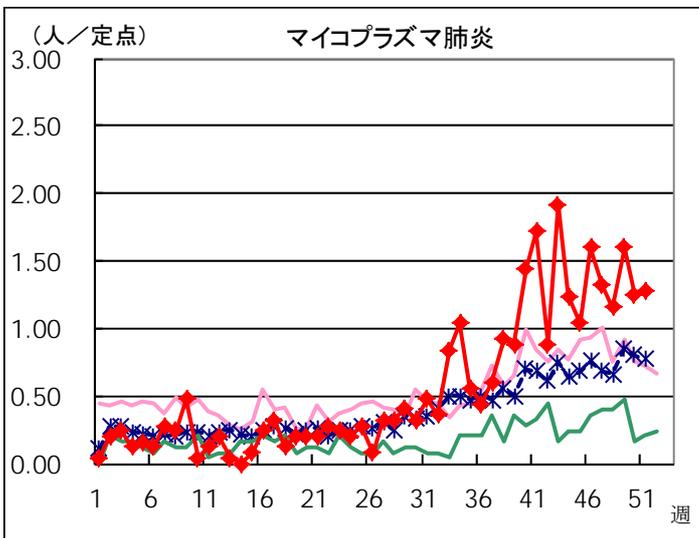
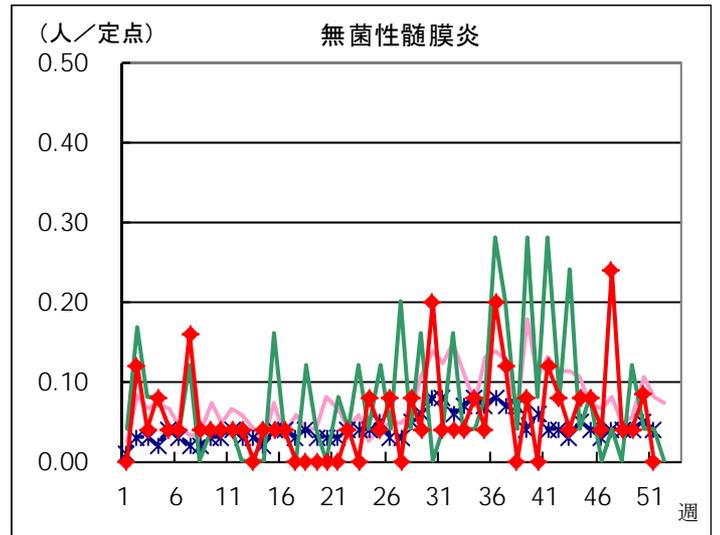
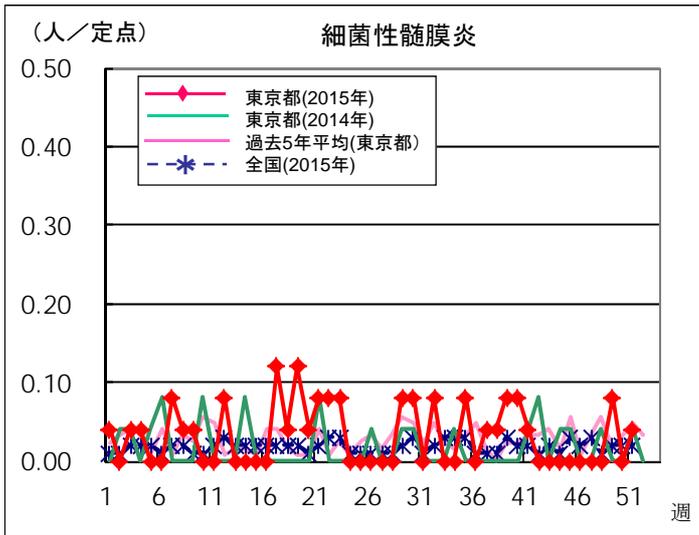
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
11/24	無菌性髄膜炎	1M	咽頭拭い液	ライノウイルス
11/26	扁桃炎	5	咽頭拭い液	ライノウイルス
11/24	手足口病	12	咽頭拭い液	コクサッキーウイルス A群6型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

48週はインフルエンザウイルスが検出されませんでした。

	AH1pdm09	AH1亜型	AH3亜型	B型
2015年48週				
2015-2016年 シーズン累計*			6	2

\* 2015-2016年シーズンの開始は第36週(2015年8月31日～)

## 病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2015年							
	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週
アデノウイルス	4	2	1	1	1	5	2	
ライノウイルス	2	3	1	2	1	4	1	2
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群	8	8	5	1	3	4	4	1
コクサッキーウイルスB群						1		
エコーウイルス	9	1	2					
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス	3	1	6					
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1				2	1	
EBウイルス	1			1				
サイトメガロウイルス			1					
ムンプスウイルス	1	1	2	3		4	2	
麻疹ウイルス		1						
風疹ウイルス		1						
ヒトパルボウイルスB19		1	1				1	
RSウイルス								
ノロウイルス	1		1	1		2	2	
ロタウイルス								
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型	2	2			1			
インフルエンザウイルスB型	1					1		
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
デングウイルス								
その他のウイルス								
その他の病原体								

# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2015年41週～2015年48週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	32	15	27	21	40	5	4	1	28	5	16	13	2			11
アデノウイルス		1	5	2		3	3									2
ライノウイルス	1	5	5		2				2		1					
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群	1	2	1		4				22		2					2
コクサッキーウイルスB群																1
エコーウイルス		1			11											
エンテロウイルス71																
その他のエンテロウイルス	1		2		1			1	2		2					1
単純ヘルペスウイルス																
水痘・带状疱疹しんウイルス																
ヒトヘルペスウイルス6型・7型											4					
EBウイルス												2				
サイトメガロウイルス												1				
ムンプスウイルス					3							10				
麻疹しんウイルス											1					
風しんウイルス											1					
ヒトパルボウイルスB19										3						
RSウイルス																
ノロウイルス				7												
ロタウイルス																
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	5															
インフルエンザウイルスB型	2															
インフルエンザウイルスAH1pdm09																
デングウイルス																
その他のウイルス																
その他の病原体																

## <感染症豆知識>

### インフルエンザ脳症

インフルエンザウイルスは急性呼吸器感染症の原因として一般的であるが、時として急性脳症を引き起こし致命的となることが知られている。インフルエンザウイルスによる急性脳症の発症率は日本で年間60～500人程度であり、かつては30%もの致死率であったが、「厚生労働省インフルエンザ脳症ガイドライン」が公表されてから近年の致死率は8%程度まで低下してきている。その一方で後遺症を残すものが多く、重篤な疾患である。

これらのことより、インフルエンザ脳症では、早期診断と集中治療開始の時期をのがさないことが重要である。

インフルエンザ脳症の臨床症状は、非特異的な発熱・頭痛といった flu-like syndrome の症状で始まる事が多く、不機嫌、啼泣、腹部膨満、悪心、嘔吐等の症状がみられる。その後、神経障害に起因する症状が急激にあるいは緩徐に出現し始める。意識障害、奇異行動、けいれん、麻痺である。神経症状は、停滞したり進行したりすることが常である。

厚生労働省森島斑の調査では、けいれんが最も多く71.6%に認められる。けいれん発症前に、幻視、幻聴、おびえ、感情失禁など大脳辺縁系の機能的興奮の症状が半数近くみとめ、けいれん前の前期診断に有用である。また脳波においては、びまん性高振幅徐波、血清の interleukin - 6 (IL - 6) が各種の生化学検査結果に先立ち、早期に上昇しており、熱性せん妄とは異なる病態である。しかし熱性せん妄様の訴えは脳症初期の可能性があり、経過観察が必要である。

(文責 東京小児科医会 武隈 孝治)